

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
AA42G025		倫理学 (Ethics)					基礎教育科目 社会・経済		対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	2	1	医学部看護学 科	前期	月2	日本語		単独						
担当教員	氏名 今井 浩光(医) E-mail imaih@oita-u.ac.jp 内線 5600													
授業の概要	医療における倫理を学ぶ基礎として、倫理の概念、倫理学の歴史と代表的な倫理理論の考え方を学習する。それを元に、社会における医療の意味、医療に求められる倫理、望ましい医療者患者関係などについても、学びを深める。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 倫理学の歴史と代表的な倫理理論を説明できる											○			
目標2 医の倫理、看護倫理の基礎を説明できる											○		○	
目標3 社会の中で医療、医療者が果たすべき役割を考察し、自らの考えを述べることができる								○			○		○	
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								2			6		2	
授業の内容														
1 倫理学の導入、倫理的判断とは														
2 倫理理論 (徳の倫理)														
3 倫理理論 (帰結主義)														
4 倫理理論 (義務論)														
5 動画視聴と考察														
6 権利について														
7 法と道徳と倫理														
8 医の倫理の歴史														
9 患者の権利														
10 プロフェッショナリズムと医療者の責務														
11 医療者患者関係とインフォームドコンセント														
12 ケアの倫理														
13 医学研究の倫理														
14 社会の中の生命倫理														
15 まとめ														
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認					倫理的なジレンマを生む状況について、自らの考察をまとめ、レポートを作成する。またSGDにて、多様な考え方があることを学ぶ。		工夫その他の	動画コンテンツを利用する。					
	B:意見の表現・交換		○											
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		倫理的な課題を含む社会の出来事に常に関心を持ち、情報収集を行う(30時間)											
	事後学修		関心を持った事例について、授業で学習した知識、考え方を踏まえて考察する(15時間)											
	想定時間合計		45											
教科書	資料を配布する。													
参考書	看護倫理 改訂第3版/小西恵美子編集 南江堂 2021年 ISBN10: 4524225080													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	試験	90%	○	○	○							
	レポート	10%		○	○							
注意事項												
備考												
リンク												
	URL											
担当教員の 実務経験の有無	○											
教員の 実務経験	附属病院の医師											
実務経験を いかした教育内容	医療現場で起こる倫理的ジレンマを講義の題材とする。											